

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 広域バス路線運行維持奨励金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園整備局 電話番号：058-272-1111(内4936)
公共交通課 地域交通係

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 180,943 千円 (前年度予算額：92,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	92,000	92,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	180,943	0	0	0	0	0	0	0	180,943
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛等により移動需要が減少し、乗合バス事業者は大変厳しい経営状況が続いている。
- ・コロナ禍の収束が見通せない中で、バス路線の減便・廃止は、県民の移動サービス縮小とともに車内密度の増につながるおそれがあることから、路線、便数の維持が求められる。

(2) 事業内容

乗合バス事業者が、密を回避し、路線・便数を維持する運行に対して、奨励金により支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

経常費用と経常収益の差額に次の率を乗じた額
 地域間幹線系統・準地域間幹線系統 3 / 20
 連絡系統 1 / 6
 ※ただし、上限額あり

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	180,943	
合計	180,943	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

③地域公共交通体系など生活サービスの再編・効率化 (地域公共交通の維持と再編)

- ・地方鉄道の維持確保のため、安全運行に必要な設備投資等を支援するとともに、バス交通の維持確保のため、広域幹線バス路線や市町村自主運行バスの運行を支援する。

○岐阜県地域公共交通計画

<地域をつなぐ「広域交通」の維持・確保>

(3) 広域バスの維持・確保

①運行

- ・県は、国の補助制度に協調した支援に加えて、国の補助対象とならない広域バスを維持・確保するために、運行費に対する支援を継続します。

<地域公共交通の「活性化」>

(3) 新型コロナウイルス感染症対策の推進

①感染症対策

- ・行政は、地域公共交通の維持・確保のため、感染症の状況に応じて、交通事業者への財政的支援等を実施します。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	広域バス路線運行維持奨励金
補助事業者 (団体)	乗合バス事業者 (理由)
補助事業の概要	(目的) 広域的な公共交通を担う事業者を支援 (内容) 乗合バス事業者が、密を回避し、路線・便数を維持する運行に対して、奨励金により支援
補助率・補助単価等	定率 (内容) 経常費用と経常収益の差額に次の率を乗じた額 地域間幹線系統・準地域間幹線系統 3/20 連絡系統 1/6 ※ただし、上限額あり (理由) 奨励金交付要綱5条による
補助効果	乗合バス事業者の密を回避し、路線・便数を維持した運行を支援することができる。
終期の設定	終期7年度 (理由) コロナによる影響を注視しつつ、事業継続の必要性を検討する。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛等により移動需要が減少し、厳しい経営状況に置かれている乗合バス事業者が、密を回避し、路線・便数を維持して運行することに対して、奨励金により支援し、地域住民の生活の移動手段を確保する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②	路線バスは、運転手のやりくりなどにより運行本数等を適宜見直すことがあるため、一概に指標を設定することは適当でない。					

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
			81,302

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	補助実績 ・補助対象事業者数 7事業者 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和3年度	補助実績 ・補助対象事業者数 7事業者 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和4年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	乗合バス事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響により苦しい経営状況が続いており、事業の必要性は継続している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	広域路線の維持確保が為されており、事業効果が現れている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	対象となる系統は、岐阜県地域公共交通協議会において、行政・交通事業者等の関係者により協議されている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 コロナ禍の収束が見通せない中で、乗合バス事業者の経営状況は大変厳しく、バス路線の減便・廃止の恐れがあり、県民の移動サービス縮小とともに車内密度の増につながるおそれがある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナによる影響を注視しつつ、必要な対策を検討する。
--